

# JIS

## 土工機械－操縦装置

JIS A 8919 : 2023

(JCMA/JSA)

令和 5 年 11 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松橋 隆治	東京大学
(委員)	安部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江坂 行弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉片 憲治	早稲田大学
	越川 哲哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清家 剛	東京大学
	高辻 利之	株式会社 AIST Solutions
	千葉 光一	関西学院大学
	渡田 滋彦	一般社団法人日本船舶電装協会
	中川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久田 真	東北大学
	廣瀬 道雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	細谷 恵	主婦連合会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	神戸大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山田 陽滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.11.20 改正：令和 5.11.20

官 報 掲 載 日：令和 5.11.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本建設機械施工協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 操縦装置の要求事項	4
4.1 一般	4
4.2 操縦装置の位置	5
4.3 操縦装置間の距離	5
4.4 外力による動作又は損傷を防ぐ対策	6
4.5 ペダル	6
5 操縦装置の動き	6
5.1 一般	6
5.2 多機能操縦装置	7
6 操縦操作力	8
附属書 A (規定) 土工機械－本体	10
附属書 B (規定) 土工機械－エクイップメント	15
附属書 C (規定) 土工機械－アタッチメント	19
附属書 D (参考) グレーダの操縦装置	22
附属書 E (参考) ブルドーザの操縦装置	26
参考文献	29
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	30
解 説	31

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本建設機械施工協会（JCMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 8919:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

## 土工機械—操縦装置

## Earth-moving machinery—Operator's controls

## 序文

この規格は、2020年に第3版として発行されたISO 10968を基とし、我が国の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

## 1 適用範囲

この規格は、JIS A 8308に定義される土工機械の運転員の操縦装置のうち、直接操縦式の機械に関連する運転員の操縦装置のための要求事項及び指針について規定する。指、手、及び足による操縦装置についての推奨事項は、他の形式、配置及び操作方向の使用を妨げるものではない。この規格は、機械操縦に直接関係しない装置には適用しない。

注記1 遠隔操縦装置に関しては、JIS A 8408:2023を参照。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 10968:2020, Earth-moving machinery—Operator's controls (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 8310-1 土工機械—操縦装置及び表示用図記号—第1部：共通図記号

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 6405-1, Earth-moving machinery—Symbols for operator controls and other displays—Part 1: Common symbols

JIS A 8310-2 土工機械—操縦装置及び表示用図記号—第2部：特定機種、作業装置及び附属品図記号

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 6405-2, Earth-moving machinery—Symbols for operator controls and other displays—Part 2: Symbols for specific machines, equipment and accessories

JIS A 8315 土工機械—運転員の身体寸法及び運転員周囲の最小空間

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 3411, Earth-moving machinery—Physical dimensions of operators and minimum operator space envelope

JIS A 8325 土工機械—履带式機械—制動装置の性能要求事項及び試験方法

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 10265, Earth-moving machinery—Crawler machines—